

国立研究開発法人建築研究所契約監視委員会（第10回）の審議概要

1. 開催日及び場所

令和元年5月29日 航空会館8階801会議室

2. 出席委員

松井委員長	日本大学 名誉教授
高木委員	弁護士
小場瀬委員	筑波大学 名誉教授
山崎委員	国立研究開発法人建築研究所 監事
長沢委員	国立研究開発法人建築研究所 監事

3. 概要

(1) 平成30年度調達等合理化計画の自己評価の点検について

平成30年6月に建築研究所が策定・公表した「平成30年度調達等合理化計画」の達成に向けた取組みの自己評価については妥当であると了承された。

(2) 平成30年度に行った契約案件の事後点検について

①新たな随意契約

審議の結果、これらの契約は、真に合理的かつ理論的な理由で競争性のない随意契約となったもので、やむを得ないものと了承された。

②250万円を越える一者応札・応募案件

審議の結果、特に問題はないものと了承された。

(3) 委員からの主な意見

今回の契約監視委員会における審議を踏まえ、今後も「一者応札・応募」について、改善に向けた取組みを継続して適切に実施していくこと。

引き続き潜在的な入札参加希望者に対し、情報発信を行い、入札参加者を増やす努力をすること。

随意契約理由書において特命性がより明らかとなるよう検討すること。